

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



東海道五十三次  
 江戸より十九番目の宿  
 府中(ふちゅう)

府中は大御所・家康が築いた城下町である。駿遠でも最大規模を誇った宿場の繁栄はそのままだけに受け継がれ、立派な現代都市となっている。どこかおっとりとしたこの街は、藤原氏の「下返倉一丸」の出身地でもある。



徳川家康が少年期と晩年を過ごした府中は東海道中膝栗毛の着衣下駄合元(元)の生誕地であり、東海道とは級の深い土地である。現在の静岡市は駿河国の国府が置かれたところから「駿府」と呼ばれていた。府中とははれはれは時代以降は須場の町称として府中宿となった。

現代的な商店街繁華街のわたりはのんびりして上品である。府中には大政奉還後、徳川慶喜も約三年間隠棲した(浮月楼)「うらん好き」隠居したわけではなか、この地にはどこか大物が悠々自適で余生を過ごす場所とされた感がある。

駿府城跡に立徳川家康銅像

駿府公園  
 天正三年(一五八五)徳川家康が築成した駿府城の跡地を公園としたもの。一九八九年に榊原が復原された。

名物のうまもの「あべかわ餅・うまぎ餅」桶ずし。

